

夏休み！！ お前ら本を読め！！

特大号

お前らのために図書委員がおすすめの本を紹介してやるぜ！！

『永遠の0』 百田尚樹

主人公の祖父は戦争の戦闘機乗りで、臆病だと思われていた。しかし本当は妻子にもう一度会うため生き残っていたのだが、最後は特攻に指名され…。ラストシーンはほんとにおすすめです。

『その日の前に』 重松清

その日。自分の大切な人が亡くなる日。なんでもない日常が一番幸せだと改めて感じられます。一見、独立した短編集ですが、最後の三編で全てがつながり、涙すること間違いなしです。

『バケモノの子』 細田守

両親がいなくなり、親戚に引き取られることになった少年、蓮。お金も尽き途方に暮れていた蓮は「バケモノ」の熊徹の弟子になることになり、九太という名をつけられた。熊徹と九太、二人の成長物語。

『モモ』 ミヒヤエル・エンデ

この本は、「モモ」という一人の少女についての物語です。モモは人の話を聞くのが上手く、様々な人の悩みを解決していきます。しかし、時間貯蓄銀行という謎の集団が現れてから事態が一変します。時間について考えさせられる面白い本です。

『沈黙』 遠藤周作

映画化した不朽の名作です。鎖国中の日本にキリスト教を布教しようと来た司祭が迫害に合い、踏み絵をさせられるまでを描いた作品です。「信じる」という言葉はプラスの意味で使われることが多いと思いますが、この作品では残酷な意味で使われています。「信じる」という言葉の意味を深く考えさせられる作品です。

『塩の街』 有川浩

人が塩化していく世界で出会う様々な人々。海を目指す青年、脚が塩化したお嬢様と執事、元軍人と同居する女子高生。その出会いが世界のついでに救った。有川浩のデビュー作、ラブストーリーやSF、ファンタジーが好きな人にオススメ。

『三毛猫ホームズシリーズ』 赤川次郎

頭の良い三毛猫ホームズの推理と少し頼りない刑事、片山義太郎が様々な事件を解決していく推理小説です。読みやすい作品なのでオススメです。

『下町ロケット』 池井戸潤

勉強、部活、友人関係など何か困っている人にオススメです。乗り越えられない壁に消極的な自分があるなら、二代目社長の姿をぜひ見てください。必ず乗り越えられるはずです。